

2019年9月29日(日)朝10:10～ 主の聖霊降臨節第17、敬老会等
9月第5共同主日礼拝式説教 日本アライアンス庄原基督教会

説教題：**12人の使者・12使徒(1～節)**

聖書：マタイ 10章1～4節

<口語訳>

新約聖書14～ 頁

マタイ 10章1～4節

<新共同訳>

新約聖書17～ 頁

マタイ 10章1～4節

<新改訳第3版>

新約聖書17～ 頁

マタイ 10章1～4節

<塚本訳>

新約聖書93～ 頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き
によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓・説教**と表現される箇所です。

◇本日の**マタイ10:1～4**は、**汚れた霊**を追い出す「**主の権威**」を与えられた**12人の使徒**たちが、そのわざを行うために派遣される箇所です。

⇒①**3人の癒し**(ツァアラート、中風、熱病)、
②**3つの権威のわざ**(悪鬼、嵐、ガダラの悪鬼につかれた2人の男)、
③**3人の回復**(寝床の中風と税金取りマタイら罪人、長血の女性と生き返った少女、2人の盲人)の**主の恵み**の下、**主の弟子**たちは、**使徒**(遣わされた者の意)として派遣されます。

⇒「**悪霊**」を支配できることは、**神の恵み**であり、「**主の権威**」の表現です。

⇒それは、**主の与えて下さる「平和」**です。戦争がない平和もありますが、「**主の権威**」に生きられる平和です。苦難の中でも、平和なのです。

本論；

◇本日、**マタイ書10章1～4節**から主の**使信**に
思い・心vousをとめます。

◆**マタイ10章1～4節**；**使徒マタイ**は、**神の
権威**が、主の12弟子たちは使徒として派遣し、
「**悪鬼を追い出し、いやす**」(1節)のです。

◇**1～4節**；**塚本訳◆十二使徒を選ぶ**

「1 そこで十二人の弟子を呼びよせて、汚れた
霊を追い出し、またあらゆる病気、あらゆる煩
いをなおす全権を授けられた。

2 十二使徒の名はこれである。——まず、ペテ
ロと言われたシモンとその兄弟のアンデレ、
それからゼベダイの子ヤコブとその兄弟のヨ
ハネ、

3 ピリポとバルトロマイ、トマスと税金取りマタイ、
アルパヨの子ヤコブとタダイ、

4 熱心党のシモンと(あとで)イエスを売ったイ
スカリオテのユダ。」と、**使徒マタイ**は主のこと
ばを語っています。

◇**1～4節**；「そこで十二人の弟子を呼びよせて、
汚れた霊を追い出し、またあらゆる病気、あら
ゆる煩いをなおす全権を授けられた」(1)、

「十二使徒の名はこれである」(2)、「まず、ペテロと言われたシモンとその兄弟のアンデレ、それからゼベダイの子ヤコブとその兄弟のヨハネ(2)、ピリポとバルトロマイ、トマスと税金取りマタイ、アルパヨの子ヤコブとタダイ(3)、熱心党のシモンと(あとで)イエスを売ったイスカリオテのユダ(4)」と、「**神の御子イエス・キリスト様**」は、「**全権**」を委ねて、「**派遣**」されました。

⇒「**主の権威**」の派遣は、「**平和(平安)**」(13)のためでした。「**平和(平安)**」は、イスラエルでは、挨拶ことばであるとともに、「**神の御子イエス・キリスト様**」にとって、「**心の平和(平安)**」、「**神との和解**」でした。

⇒ですから、「**全権大使**」として派遣される弟子たちは、「**神との和解**」を宣べ伝えることが使命となりました。「**いやしやするし**」は、目的を遂行するための手段でした。

⇒「『**収穫(かりいれ)**』は、多いが、働き人が少ない。だから、『**収穫(かりいれ)の主**』に願って、その『**収穫(かりいれ)**』のために働き人を送り出してもらいなさい。」(9:38)と。

⇒「**収穫**(かりいれ)」は、「**神との和解**」に与る人を見出すことで、その目的のため、12使徒を任命されました。キリスト者は、12使徒から「**全権**」を委任された働き人です。

⇒役員会も、総会も、**神礼拝**さえも、「**神との和解・福音**」を宣べ伝え、ともに生きるための手段です。

⇒伝道とは、新しい**神の民・イスラエル**を生み出すことと言ってもよいのです。**神礼拝・神讚美の民**です。

⇒12使徒には、取税人、漁師、テロリスト(熱心党)など様々な人々によって構成され、裏切り者も紛れ込んでいました。

⇒育ち、性格、職歴など関係なく、「**神との和解**」に与った人々は、主を慕い、主を愛する心で1つになれるよう、内住の聖霊が一致の霊として働き、主の思いをあかし下さるのです。

⇒KR師のことを少しあかしします。2019年9月27日朝2:00今治市で逝去されました。1927(昭和2)年1月のお生まれですから満92歳です。横浜の日基菊名教会で、N牧師に導かれ、少年航空隊に志願、戦争で

転換点を迎えた時、フツツ米軍将校の聖書研究会に導かれ、フツツさんがアライアンス出身だったので、アライアンス神学校で学び、卒業後、3代目牧師として、呉教会に赴任されました。多くの直接伝道者を育て、私たちも、その列に加えられました。先生の変わらないメッセージは、「**キリストとともに死ぬ者は、キリストとともに生きる**」(Not I But Christ)でした。私個人としては、「神なき人生に何があるか、その決断があなたを導く」であり、献身者への心得としては、ヨハネ21:19にある主のことば、「**汝、我に従え**」です。

⇒KR師が世に送り出した伝道者も、現役は少なくなりました。聖霊の助けによって、自我に死に、キリストの恵みに生きる人生でありたいと願っています。

⇒最後の「**収穫**(かりいれ)」は、主がして下さいます。

結論；

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人**の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓(説教)の箇所です。
- ◇本日の**マタイ10:1～4**は、汚れた霊を追い出す「**主の権威**」を与えられた12人の使徒たちが、主のわざのため派遣される箇所です。
 - ⇒①3人の癒し(ツァアラート、中風、熱病)、
 - ②3つの権威のわざ(悪鬼、嵐、ガダラの悪鬼につかれた2人の男)、
 - ③3人の回復(寝床の中風と税金取りマタイら罪人、長血の女性と生き返った少女、2人の盲人)の主の恵みの下、主の弟子たちは、使徒(遣わされた者の意)として派遣されます。
- ⇒「悪霊」を支配できることは、神の恵みであり、「**主の権威**」の表現です。
- ⇒それは、主の与えて下さる「平和」です。戦争がない平和もありますが、「**主の権威**」に生きられる平和です。苦難の中でも、平和なのです。

⇒主のことば;マルコ8:34

塚本訳 それから、群衆を弟子と一しょに呼びよせて言われた、「だれでも、わたしについて来ようと思う者は、(まず)己れをすてて、自分の十字架を負い、それからわたしに従え。